

グローバルエデュケーションセンター (GEC) 数学 学習マップ

～ 「数学的思考力」を身に付けよう～

社会に出て必要な数学的知識・論理的思考力を大学在学中に身に付けたい。
数学が美社会でどのように使われているか知りたい。

早稲田大学には全学基礎教育「WASEDA 式アカデミックリテラシー」の
数学科目に「数学基礎プラスシリーズ」をはじめとする科目群がある。
また、全学オープン科目として履修できる数学及び数学関連科目もある。

全学基礎教育、及び全学オープン科目の数学科目は、専攻を問わず、全ての学びの礎となり、今後社会に出てからも必ず役立つ力になる。「数学を基礎から学びたいなら、「数学基礎プラスシリーズ」を受講しよう。このシリーズでは、高校数学の知識を前提とせずに、実社会で数学が使われる金利や最適化を例に、数学を基礎から解説している。自然科学に限らず、経済学や政治学、経営学、言語学等で用いられる「数学的思考力」を学びたい学生には、「視覚的に捉える群論入門」や「素数の魅力と暗号理論」、「結び目で見える数学の世界」の受講を勧める。また、「ことばと数学(言語としての数学)」に興味があり、英語の文献の読み方や論理的な話し方・書き方を身に付けたいなら、「英語と数学の読み方」や「ロジカルシンキング入門」を受講するとよい。どの科目群も特別な予備知識を仮定しないため、各自の興味に応じて、どこからでも学ぶことができる。

数学を 基礎から 学びたい



シラバス検索で GEC の数学科目を詳しく見よう!
キーワード: 数学 学部: グローバル で検索! →



(数学的) 構造を知りたい

◆ 視覚的に捉える群論入門
「あみだくじ」を用いて抽象的な群の概念を視覚的に捉え、群の数学的構造を理解する
抽象的な数学の理論と身近な具体例の繋がりを理解したい学生向け

◆ 素数の魅力と暗号理論
初等整数論を通じて、整数の四則演算(+, -, ×, ÷)の織り成す世界の構造を理解する
数の世界の面白さや魅力を知りたい学生向け

◆ 結び目で見える数学の世界
「結び目」を通じて、トポロジーと呼ばれる柔らかい幾何学の概念を理解する
図形や空間の形に関する謎や魅力に触れたい学生向け

ことばと数学を学びたい

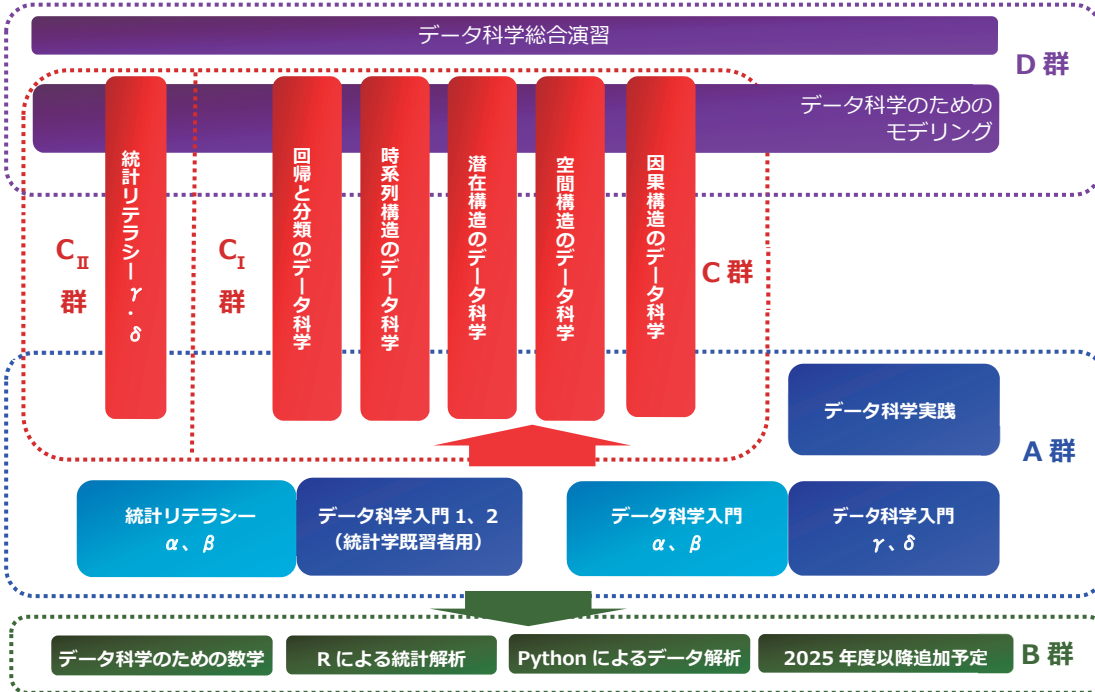
◆ 英語と数学の読み方
数学ゲームなどの易しいテキストの内容を、実際にプレイすることなどを通じて学びながら、英語の文献を読むためのコツと、数学の論理展開の両方を身につける
英語や数学が得意ではないが、身につけたいと思っている学生向け

◆ ロジカルシンキング入門
易しい数学の題材をしながら、論理的な話し方・書き方を実地で学ぶ
論理的に話せるように/書けるようになるたい、プレゼンテーション能力を磨きたい学生向け

3. データ科学科目マップ

データ科学はデータの種類や活用する目的が大切な学問です。はじめてデータ科学を学ぶ方は、まず A 群科目から学ぶことをお勧めします。統計学や機械学習を含むデータ科学の考え方から学びたい方は、まず「データ科学入門 α 、 β 、 γ 、 δ 」の順に学ぶことをお勧めします。一方で統計学を中心に学びたい方は、まず「統計リテラシー α 、 β 」を学ぶことをお勧めします。「データ科学入門 1、2 (統計学既習者用)」は、統計学の基礎を学んだ人を対象に「データ科学入門 $\alpha \sim \delta$ 」の内容をまとめた科目ですので「統計リテラシー α 、 β 」の後に学ぶと良いでしょう。「データ科学実践」は、データ科学の考え方とスキルを用いて、得られたデータを実践的に活用することを目的とした科目ですのでお勧めです。**本学では、「データ科学認定制度」を設置しています。対象科目を履修し、各級の定める要件を満たした学生に対して、認定証明書を発行します。「データ科学認定制度」の詳細な内容は、186 ページをご確認ください。**

カリキュラムマップ



A 群 ★データ科学入門シリーズ ~データ科学の考え方を基礎から身につける~

Step 1

◆データ科学入門 α

データ解析の考え方の基礎を学ぶ キーワード：基本統計量、確率分布、データ解析の考え方

Step 2

◆データ科学入門 β

回帰問題・分類問題の問題設定と基本的な考え方を学習する
キーワード：回帰分析、最小二乗法、分類問題、判別分析、ロジスティック回帰

Step 3

◆データ科学入門 γ

回帰問題・分類問題において適切なモデルを設定する方法について学習する
キーワード：変数選択、交互作用、モデル選択、クロスバリデーション、正則化

Step 4

◆データ科学入門 δ

データ解析の一連の流れを実践的に学ぶ
キーワード：クラスタリング、データの取り扱い、データの前処理、解析結果の考察

Step 5

◆データ科学実践

データを活用する目的の設定、分析、検証、考察の一連の流れを実践的に学ぶ

A 群 ★**統計学を中心に学びたい方** ～統計学の基礎から積み上げ式で学ぶ～

Step 1 ◆**統計リテラシー α**
データを視覚的・数値的に要約する「**記述統計学**」を学ぶ
キーワード：グラフ、ヒストグラム、基本統計量、散布図、相関係数、分割表

Step 2 ◆**統計リテラシー β**
推測統計学を学ぶために必要な「**確率論**」を学ぶ
キーワード：確率変数、確率分布、正規分布、期待値、分散

Step 3・4 ◆**データ科学入門 1・2（統計学既習者用）**
統計学の基礎を学んだ人を対象に「データ科学入門 $\alpha\sim\delta$ 」の内容を2科目で体系的に学ぶ

Step 5 ◆**データ科学実践**
データを活用する目的の設定、分析、検証、考察の一連の流れを実践的に学ぶ

B 群 ★**統計・データ科学をより深く理解し活用するための基礎**

◆**データ科学のための数学**
データ科学を深く理解するために必要な数学の基礎を学ぶ
キーワード：線形代数、微分積分、確率

◆**Rによる統計解析**
統計解析ソフトRを利用し、記述統計から推測統計及びデータ解析法を学ぶ

◆**Pythonによるデータ解析**
プログラミング言語Pythonを基礎から学びつつ、データ分析に特化した豊富なライブラリを活用したデータ分析について学ぶ

C 群 ★**自身の持つ専門性に対してデータ科学を活用するための科目を選択**

C_I 群

◆**回帰と分類のデータ科学**
様々な分野で重要となる回帰と分類の考え方を深める
キーワード：重回帰分析の統計的性質、一般化線形モデル、木モデル、カーネル法、ニューラルネットワーク、ディープラーニング、集団学習

◆**時系列構造のデータ科学**
時間で変化する系列に対するデータ科学を学ぶ
キーワード：時系列構造とは、トレンド、自己回帰モデル、マルコフモデル、状態空間モデル

◆**潜在構造のデータ科学**
データの背後にある潜在的な変数及び数理構造に対するデータ科学の考え方を学ぶ
潜在構造とは、因子分析、グラフィカルモデル、階層ベイズ、潜在クラス分析、構造方程式モデリング

◆**空間構造のデータ科学**
空間的な変数あるいは関係を持つ変数からなるデータに対するデータ科学の考え方を学ぶ
キーワード：データと空間構造、空間データと関係データ、有向グラフモデル、無向グラフモデル、様々な基底によるデータの表現、畳み込みニューラルネットワーク

◆**因果構造のデータ科学**
データから背後に存在する因果構造を明らかにするデータ科学の考え方を学ぶ
キーワード：相関と因果、ランダム化比較実験、統計的因果推論、傾向スコア、因果ダイアグラム

C_{II} 群

◆**統計リテラシー γ**
データから母集団の性質を確率的に推測する「**推測統計学の基礎**」を学ぶ
キーワード：サンプリング、大数の法則、中心極限定理、点推定、区間推定、仮説検定

◆**統計リテラシー δ**
卒業研究などで必要となる「**実践的な推測統計学**」を学ぶ
キーワード：母集団の比較、適合度検定、相関係数の検定、分散分析

D 群 ★**自身の専門領域以外においてもデータ科学を活用できるようにする**

◆**データ科学のためのモデリング**
データ科学で重要な数理モデルの考え方について学ぶ
キーワード：数理モデル、確率変数、データの構造、潜在変数

◆**データ科学総合演習**
データ科学で重要な数理モデルをどのように設定するかについて学ぶ
キーワード：データの特徴の把握、数理モデルの設定・説明、分析とまとめ

4. 情報科目マップ

情報科目は大きく3つのカテゴリに分類されます。さらに各カテゴリにおいて、難易度・グループによって、以下の表のとおり分類されます。

GEC情報系科目の履修モデル	
<ul style="list-style-type: none"> 各履修モデルは、参考として提示しているものであり、該当する職業や、履修モデルに相当する資格等の取得を保証するものではありません。 いずれの履修モデルも「情報科学の基礎」の履修を推奨しますが、前提知識があれば履修しなくても構いません。 前提知識がある人は、必ずしも入門・初級・準中級・中級の順に履修する必要はありません。 各履修モデルでは、すべての科目を履修することが望ましいですが、任意で履修しても良い科目は破線の矢印で示します。 <p>※履修マップでは、情報科目の全ては表現されていません。また、年度によっては休講となっている科目も記載されています。</p> <p>科目名称については、次ページ以降の「4. 情報科目」で確認してください。</p>	
履修モデル例	履修マップ
大学生として身に着けるべき情報処理・表現力	
ソフトウェア開発	
Web制作 (Webページの設計及び制作)	
Web制作 (データベース・処理系の設計及び実装)	
ネットワーク・サーバ管理	
マルチメディア (グラフィック)	
マルチメディア (サウンド)	

○情報科目マップ

PC・ネットワークを知る			
難易度／グループ	OS・サーバ	ネットワーク	セキュリティ
中級			
準中級	サーバマネジメントα サーバマネジメントβ	ネットワーク技術準中級	情報セキュリティ技術
初級	UNIX 入門	ネットワーク技術初級	情報ネットワークセキュリティ
入門	情報科学の基礎		

PC・ネットワークを使う			
難易度／グループ	ソフトウェア開発	Web 制作	マルチメディア
中級	ソフトウェア開発技術α ソフトウェア開発技術β		
準中級	アルゴリズムとデータ構造α アルゴリズムとデータ構造β プログラミング中級 (C/C++) プログラミング中級 (Java) プログラミング中級 (Python)	データベース (管理と運用)	クライアントサイド Web プログラミング中級 サーバサイド Web プログラミング中級
初級	プログラミング初級 (C/C++) プログラミング初級 (Java) プログラミング初級 (Python)	データベース (SQL 入門)	クライアントサイド Web プログラミング初級 サーバサイド Web プログラミング初級 Web デザイン実践
入門	情報科学の基礎 プログラミング入門		マルチメディア 【サウンド】 ミュージック・プログラミング 【グラフィック】 マルチメディア中級 (画像処理とアニメーション) α マルチメディア中級 (画像処理とアニメーション) β
			【グラフィック】 CG エンジニア入門 マルチメディア初級 (画像処理とアニメーション) α マルチメディア初級 (画像処理とアニメーション) β
			情報科学の基礎

社会と情報			
難易度／グループ	情報化社会	人工知能	数理科学
初級	オープン・ソース・ソフトウェア概論 データ分析の基礎 未来社会を創るセキュリティ最前線	人工知能入門－探索による人工知能－	コントラクトブリッジで学ぶ数理科学入門

情報科目「プログラミング入門」「Introduction to Programming」について

GEC が提供する情報科目のうち、これまでプログラミングを学習したことのない学生を対象としている「プログラミング入門」およびその英語版科目「Introduction to Programming」は、その科目の難易度に鑑みて、GEC が提供するプログラミング科目のうち、初級・中級レベルの科目の単位をすでに修得している学生は履修申請することができません。

具体的には、以下の科目の単位を修得済みの学生は、「プログラミング入門」および「Introduction to Programming」を過去に受講したことがない場合でも、それらの科目を履修申請し、受講することはできません。



- ・プログラミング初級 ※言語を問わず対象
- ・プログラミング中級 ※言語を問わず対象
- ・サーバサイド Web プログラミング初級
- ・サーバサイド Web プログラミング中級
- ・クライアントサイド Web プログラミング初級
- ・クライアントサイド Web プログラミング中級
- ・ミュージック・プログラミング

なお、「プログラミング入門」または「Introduction to Programming」の単位を修得したのちに、これらの初級・中級レベルの科目を履修申請し、受講することは可能です。

2024 年度 英語科目マップ

Speaking

Tutorial English

※A/D/D+には発音講座がある

Advanced A・B

聞いたこと、読んだことほとんどすべてを簡単に理解し、自分の考えを論理的に整理し、非常に洗練かつ正確に細かいニュアンスまでも表現できるようになることを目標とします。

Upper Intermediate A・D

さまざまな話題についてそれが得意なものであっても概要を理解し、適切な表現を用いて自らの考えを論理的に、洗練に伝えることができるようになることを目標とします。

Intermediate A・D

抽象的な事柄や複雑な話題にも対応できる表現力を身につけ、自身の意見を述べる際に場所と相手を変えて説明することができるようになることを目標とします。

Basic A・D

日常生活での身近な事柄について自身の意見とその理由を簡単に説明し、短いやり取りができるようになることを目標とします。

Writing

AWADE

(Academic Writing and Discussion in English)

AWADE Undergraduate Thesis Writing

学部生が英語の卒業論文を作成する上で必要な知識について学びます。今までに履修したAWADEシリーズ科目 (a, b) の集大成として、自身がこれまでに得た知識を教員し、より長い文章を作成することを目標とします。

AWADE β

リサーチペーパー (所定のテーマについて自身の考えを示し、その考えを支える複数の文献から得た、レポートにまとめたもの) について学びます。本授業では、適切な学術的情報を効果的に探す方法や、得られた学術的情報をどのように自身の考えに反映させるかを学び、最終的には1500単語程度のリサーチペーパーにまとめます。

AWADE α

学術的な英語文章を作成する上で、必要な基礎や文章構成を学ぶことに主眼を置いた授業です。本授業を履修することにより、学術的にふさわしい表現を用いた500単語程度の読みやすい文章を作成できるようになります。

Writing Scientific Papers

サイエンティストに必要なライティングスキルと知識を身につけます。「Waseda Moodle」を利用したフルオンデマンド科目です。

Listening and Reading

Critical Thinking for Advanced Learners α/β

学術的な文章、学術的な場面での発話を理解し、それらに関する議論で自分の意見を明確に述べる、構造がある文章を書くことができるようになることが目標です。

Academic Skills for Intermediate Learners α/β

さまざまな話題について書かれたもの、話されたことの主要を理解し、その構造を分析できるようにするための基本的なスキルを身につけることが目標です。

Essentials for Beginners α/β

日常的に繰り返し行われるようなコミュニケーションで使用される表現を身につけ、身近な事柄について書かれたものや話されたことを理解できるようにすることが目標です。

Comprehension

6. 講義科目マップ

2024年度 ドイツ語 全学オープン科目マップ

到達目標 (共通レベル)	学期	総合	文法	ドイツ語コミュニケーション (少人数グループでの授業)	プレゼンテーション と ディスカッション	授業内容			読解				
						ドイツ語で表現する1 (初級の会話) <文>	口頭表現 (口頭コミュニケーションの 能力を向上させる)	文章表現 (初級独作文から ドイツ語でのレポートの書き方まで を習得する)	時事ドイツ語 (ドイツ語圏の人々が日々 の出来事などをどのように考 えているかを知る)	文学・思想・歴史 (文学書や歴史書や歴史書を じっくり読む)	文化地誌 (ドイツ語圏の社会・文化・自 然などの特性を知る)	読解法 (テキストの 読解力をスキ ルアップす る)	
A1-1	春学期	ドイツ語総合基礎 A1-1 <政経>											
	秋学期	独語(初級)I 入門 <政経> ドイツ語総合基礎 A1-2 <GEC>					ドイツ語で表現する4 (初級の作文) <文>						
A1-2	春学期												
	秋学期	ドイツ語総合基礎 A1-2 <GEC>					ドイツ語で表現する2 (初級の会話) <文>						
A1	春学期	Intensive German I 01 <国際教養>	春クォーター：ドイツ語文法 (入門)<GEC> 夏クォーター：ドイツ語文法 (初級)<GEC>										
	秋学期												
A2-1	春学期	ドイツ語総合基礎 A2-1 <GEC>											
	秋学期	German III 51 <国際教養>											
A2-2	春学期	German IV 01 <国際教養>											
	秋学期	ドイツ語総合基礎 A2-2 <GEC>											
A2	春学期			ドイツ語コミュニケーション (基礎) <GEC>			ドイツ語で表現する5 (中級の会話・作文) <文> ドイツ語で表現する7 (中級の会話・作文) <文> ドイツ語で表現する9 (中級の会話・作文) <文> ドイツ語コミュニケーションI <人科> ツールとしてのドイツ語V <教育>	ドイツ語圏の社会と言語 I <人科>	ドイツ語 1 <文> ドイツ語 3 <文> ドイツ語 5 <文> ドイツ語 7 <文>	テーマで読むドイツ語 1 <文> テーマで読むドイツ語 3 <文> テーマで読むドイツ語 5 <文> テーマで読むドイツ語 7 <文>			
	秋学期	Intensive German II 51 <国際教養>					ドイツ語で表現する6 (中級の会話・作文) <文> ドイツ語で表現する8 (中級の会話・作文) <文> ドイツ語で表現する10 (中級の会話・作文) <文> ドイツ語コミュニケーションII <人科>	ドイツ語圏の社会と言語 II <人科>	ドイツ語 2 <文> ドイツ語 4 <文> ドイツ語 6 <文>	テーマで読むドイツ語 2 <文> テーマで読むドイツ語 4 <文> テーマで読むドイツ語 6 <文>			
A2→B1	春学期												
	秋学期			ドイツ語コミュニケーション (基礎) <GEC>									
B1→B2	春学期	独語実践演習 I (政経) 独語上級 (留学準備) I (法)		ドイツ語コミュニケーション (応用) <GEC>									
	秋学期	独語実践演習 II (政経) 独語上級 (留学準備) II (法)											
B2	春学期	独語上級 (総合) I (法)											
	秋学期	独語上級 (総合) I (法)		ドイツ語コミュニケーション (上級) <GEC>									
B2→C1	春学期	独語実践演習 III A (政経)											
	秋学期	独語実践演習 III B (政経)											
C1	春学期												
	秋学期												

ドイツ語 到達目標の見方

ドイツ語を学習するにあたって、学生が明確な目標を設定し、自分の能力をその都度位置づけることができるようにするため、到達目標は欧州評議会制定の共通参照レベルに準拠しています。以下、大学でドイツ語の学習を開始する場合のおおむねの目安を記します。

A1：一年次春学期および一年次秋学期

A2：二年次春学期および二年次秋学期

B1：三年次以上；B1のレベルに到達し「Goethe-Zertifikat B1 / ÖSD Zertifikat B1」に相当する実力を得た者は、提携校への交換留学が可能になる。

2024年度 中国語 全学オープン科目マップ

レベル	学期	授業内容										検定試験対策科目										
		チュートリアル	リスニング、スピーキング、プレゼンテーション	会話	プレゼンテーション	ヒアリング	スタンダード	総合的インテンシブ	リーディング、ライティング、翻訳	中国語による講義科目	PC使用による自学科目											
初級	初級1 (中国語を初めて学ぶ人)																					
	初級2 (週2コマ 半年程度 学んだ人)																					
準中級	準中級1 (週2コマ 1年程度学んだ人)	中国語コミュニケーション α/β (GEC)										Intensive Chinese I (国際教養)										
	準中級2 (週2コマ 1年半程度学んだ人)	中国語コミュニケーション α/β (GEC)										Intensive Chinese II (国際教養)	中国語圏の社会と言語 I (人科)									
中級	中級1 (週2コマ 2年程度学んだ人)	中国語コミュニケーション α/β (GEC)	中国語会話 A~B (中級) (文)									Intensive Chinese III (国際教養)	中国語作文 (中上級) B (文)	時事中国語 (中級) A (文)								中国語検定を めざす (中級) A (文)
	中級2 (週2コマ 2年半程度学んだ人)	中国語コミュニケーション α/β (GEC)	中国語会話 C (中上級) (文)									Intensive Chinese III (国際教養)	中国語作文 (中上級) A (文)	時事中国語 (中上級) A (文)								中国語検定を めざす (中級) B (文)
中上級	中上級1 (週2コマ 3年程度学んだ人)	中国語コミュニケーション α/β (GEC)	中国語会話 C (中級) (文)									Intensive Chinese III (国際教養)	中国語作文 (中上級) A (文)	時事中国語 (中上級) A (文)								中国語検定を めざす (中級) B (文)
	中上級2 (週2コマ 3年半程度学んだ人)	中国語コミュニケーション α/β (GEC)	中国語会話 C (中上級) (文)									Intensive Chinese III (国際教養)	中国語作文 (中上級) A (文)	時事中国語 (中上級) A (文)								中国語検定を めざす (中上級) B (文)
上級	上級1 (中国語で自己表現できる人)	中国語コミュニケーション 上級 α/β (GEC)	中国語会話 C (中級) (文)									中国語会話 C (中級) (文)	中国語作文 (中上級) A (文)	時事中国語 (中上級) A (文)								中国語検定を めざす (中級) B (文)
	上級2 (中国語で自己表現できる人)	中国語コミュニケーション 上級 α/β (GEC)	中国語会話 C (中上級) (文)									中国語会話 C (中上級) (文)	中国語作文 (中上級) A (文)	時事中国語 (中上級) A (文)								中国語検定を めざす (中上級) B (文)

注記: 「通年」は1年間の科目、「春学期」は春学期科目、「秋学期」は秋学期科目、「春学期/秋学期」は春学期と秋学期にそれぞれ同一内容の科目が開講されることを示す。

2024年度 スペイン語 全学オープン科目マップ

学部	学期	科目名	レベル					授業内容													
			初級	中級	上級1	上級2	導入	基礎力養成	文章表現	口頭表現	ヒアリング	時事	文学・芸術・歴史	文化地誌	読解法						
政治経済学部	春	西語実習演習Ⅰ 01			○																
		西語実習演習ⅢA 01																			
	秋	西語(初級)Ⅰ 入門	○																		
		西語実習演習Ⅱ 01			○																
文学部	春	西語実習演習ⅢB 01			○																
		政治学スペイン語文献研究			○																
		スペイン語中級(コミュニケーションカアップ)		○																	
		スペイン語中上級(ニュースで学ぶ)Ⅰ		○																	
		スペイン語中上級(作文力をつける)Ⅰ		○																	
		スペイン語上級(読む)Ⅰ		○																	
	秋	スペイン語上級(通称カアップ)Ⅰ																			
		スペイン語中級(会話)Ⅰ																			
		スペイン語中級(社会文化事情を知る)Ⅰ B																			
		スペイン語中上級(検定試験をめざす)Ⅰ																			
		スペイン語中上級(ニュースで学ぶ)Ⅱ																			
		スペイン語中上級(作文力をつける)Ⅱ																			
教育学部	春	スペイン語上級(読む)Ⅱ																			
		スペイン語上級(通称カアップ)Ⅱ																			
	秋	スペイン語中上級(コミュニケーションカアップ)																			
		スペイン語中級(会話)Ⅱ																			
		スペイン語中級(社会文化事情を知る)Ⅱ B																			
		スペイン語中上級(検定試験をめざす)Ⅱ																			
		ツールとしてのスペイン語V																			
		時事スペイン語Ⅰ																			
		スペイン語コミュニケーションAⅠ																			
		スペイン語圏の文化と言葉Ⅰ																			
商学部	春	スペイン語コミュニケーションBⅠ																			
		スペイン語コミュニケーションBⅡ																			
	秋	スペイン語・地域研究演習Ⅰ 名称の変更																			
		スペイン語・地域研究演習Ⅱ 名称の変更																			
社会科学部	春	スペイン語コミュニケーションⅠ 01																			
		スペイン語コミュニケーションⅠ 02																			
	秋	スペイン語コミュニケーションⅠ 03																			
		スペイン語圏の社会と言語Ⅰ 01																			
		スペイン語圏の社会と言語Ⅰ 02																			
		スペイン語圏の社会と言語Ⅰ 03																			
		スペイン語圏の社会と言語Ⅱ 01																			
		スペイン語圏の社会と言語Ⅱ 02																			
		スペイン語圏の社会と言語Ⅱ 03																			
		スペイン語圏の社会と言語Ⅱ 01																			
人間科学部	春	スペイン語圏社会文化論A 01																			
		スペイン語コミュニケーションⅡ 01																			
	秋	スペイン語コミュニケーションⅡ 02																			
		スペイン語コミュニケーションⅡ 03																			
国際教養学部	春	スペイン語圏社会文化論B 01																			
		Intensive Spanish I																			
	秋	Intensive Spanish II																			
		Spanish III																			
基礎理工学部	秋	Intensive Spanish I																			
		Intensive Spanish II																			
【レベル】 初級：1年生相当 中級：2年次以上相当 上級1：2年次以上相当 上級2：3年次以上相当																					

2024年度 ロシア語 全学オープン科目マップ

レベル	学期	授 業 内 容						視聴覚	留学/大学院 進学準備
		文字・ 発音	文 法	作文	会 話	時事講読	文学・文化・講読		
初級： (おおむね、 1年生に 該当)	春学期	入門ロシア語 1 (文)							
		露語初級 I 入門 (政経)			Russian I 51 (国際教養)				
	秋学期	入門ロシア語 2 (文)							
		Russian I 51 (国際教養)							
通年		ロシア語の基礎 A・B (教育)		ロシア語のコミュニケーションの 基礎 A・B (教育)					
中級： (おおむね、 2年生に 該当)	春学期	練習問題で マスターする ロシア語 1 (文)	ロシア語で 表現する 1 (文)	ロシア語で 表現する 1 (文)	ソールとして のロシア語 I (教育)	ロシア語を 読む 1 (文)			
		Russian II 01 (国際教養)		ロシア語で 表現する 7 (文)	Russian II 01 (国際教養)				
	秋学期	練習問題で マスターする ロシア語 2 (文)	ロシア語で 表現する 4 (文)	ロシア語で 表現する 5 (文)	ソールとして のロシア語 II (教育)	ロシア語を 読む 2 (文)		ロシア語で 鑑賞する 1 (文)	
通年									
中・上級： (おおむね、 3年生に 該当)	春学期				ロシア語を 磨く 2 (文)	ロシア語 を読む 3 (文)	ロシア語演習 III (教育)	ロシア語を 磨く 6 (文)	ロシア語を 読む 3 (文)
	秋学期			ソールとして のロシア語 V (教育)	ロシア語を磨 く 4 (文)		ロシア語演習 IV (教育)	ロシア語を 磨く 5 (文)	ロシア語を 読む 4 (文)
	通年								

2024年度 朝鮮語 全学オープン科目マップ

レベル	学期	総合 (発音・文法・表現・読解など)			会話		その他	
		GEC	文学部 文化構想学部	国際教養学部	GEC	文学部 文化構想学部	文学部 文化構想学部	国際教養学部
入門 初級	春学期	朝鮮語 (入門)	# 1年朝鮮語 (Step 1・2) (週4コマ、1年間で 中級前半レベルまで履修)	Korean I Korean II		# 第三外国語としての 朝鮮語 初級 1 (初級後半レベル)	国際教養学部	海外研修
		朝鮮語 (初級)		Korean I Korean II				
進中級 中級	春学期	朝鮮語 (準中級)	# 朝鮮語 中級 (中級後半レベル)	Korean III Korean IV	# 朝鮮語会話 中級 (中級後半レベル)	朝鮮語作文 中級	夏季短期語学研修 春季短期語学研修 1年交換留学 (半年コースもあり)	
	秋学期	朝鮮語 (中級)		Korean III Korean IV	# 朝鮮語会話 中上級 1 (中上級レベル)			
中上級	春学期	現代韓国を理解する 朝鮮語 読解 (中上級)			朝鮮語会話 中上級 2			
	秋学期		# 朝鮮語 中上級 (中上級前半レベル)		朝鮮語会話 中上級 3	朝鮮語作文 中上級		
上級	春学期	※朝鮮語 (上級) (最上級レベル)	※朝鮮語 上級 1		朝鮮語会話 上級 1	時事朝鮮語 1	*APM - Academic Reading in Korean: Selected Topics in Contemporary Korea	
	秋学期		※朝鮮語 上級 2		朝鮮語会話 上級 2	時事朝鮮語 2		

1. #印は全学オープン科目ではないため、科目を設置している学部/学生のみの履修可能です。ただし、「1年朝鮮語」を除き、定員に余裕がある場合に限り他学部生の3次登録が可能です。

2. 国際教養学部の「KOREAN」I・II・IIIはそれぞれGEC(グローバル・エデュケーションセンター)の「入門」「初級」「準中級」「中級」レベルに相当します。なお、国際教養学部は春学期/秋学期の区別にかかわらず毎学期「KOREAN」IからIVまでの授業が開設されます。

3. ※印の上級科目のうち、GECの「朝鮮語 (上級)」は、1年間の韓国交換留学経験者およびそれに相当するレベルの学生を対象とする最上級科目です。また、文学部・文化構想学部の「朝鮮語上級1・2」は学内中級・中上級履修済みの者、短期語学研修経験者レベルの学生を対象としています。

4. *印のAPM科目は授業は朝鮮語(韓国語)で行われますが、英語資料が用いられることがあります。

5. 毎年12月には朝鮮語の講師の方々と協力して「シンポジウム(コリア文化祭)」を開催し、その一環として2006年から「朝鮮語スピーチコンテスト」を行っています。大勢の学生の参加を期待しています。

GECでは言語レベルに沿った履修のため、入門・初級・準中級・中級レベルにおいて、授業開始後に担当教員がレベルに合っていないと判断した場合に、授業開始後であっても、中上級・上級クラスへの変更を指示する場合があります。これまでに朝鮮語(韓国語)を学習したことがある場合や、高いレベルの朝鮮語(韓国語)が使用できる場合には、1次登録開始日の前日までに、gec-help@list.waseda.jpへ必ず連絡をしてください。1次登録期間中にレベル診断中にレベル診断テストの案内をします(2次・3次登録の場合も同様)。

2024年度 自然科学系 全学オープン科目マップ

自然科学系科目は、大きく6つの領域に分類されます。

領域 分野コード (大分類)	物理・化学系		生物系		地球科学系		複合系		自然地理系		医療・健康系	
	科目名称	設置 箇所	科目名称	設置 箇所	科目名称	設置 箇所	科目名称	設置 箇所	科目名称	設置 箇所	科目名称	設置 箇所
入門・初級	PHY, ASR, CHM	GEC	BIO, ENV, HUM	GEC	PLN, ENV	GEC	PLN, ENV, HUM, ANT, GEN	GEC	GEO	文学	MED	GEC
	科目名称		科目名称		科目名称		科目名称		科目名称		科目名称	
	○身近な化学への招待 (導入) 01, 02	GEC	生命科学概論01, 02	GEC	カーボンニュートラル技術概 論 α・β (学部生用)	GEC	○海への誘い α/β	GEC	自然地理学 1	文学	地域医療学概論 (隔年開講)	GEC
	○身近な物理	GEC	○生物と環境	GEC	地球生命史	教育	環境科学基礎講座 1/2	GEC	自然地理学 2	文学		
	○物理学 I	法学	生物学 I, II	法学	化石の科学	教育	宇宙を考える1-自然科学、社会科 学を結びつける宇宙への視点	GEC	地誌 1	文学		
	宇宙の物理学	教育			太陽系の起源と地球の テクトニクス	教育	学術・研究公正概論 (生命・理工系) (学部生用)	GEC	地誌 2	文学		
	物理学 I-1, I-2	教育			-地球からの贈り物への誘い-	教育	自然人類学 IA, IB	教育	地理学 III (自然環境と風土)	教育		
	○生活の化学	教育			地球の起源	教育	自然人類学 II A, II B	教育	地理学 IV (風景の科学)	教育		
	化学 II	教育			地球システムと環境問題	教育						
中級	○身近な化学への招待 (発展) 01, 02	GEC	環境の生物学	教育			科学史・科学哲学	人科				
			動物の機能 I (神経系、循環系)	教育			バイオエシックス	人科				
			動物の機能 II (生態、行動)	教育								
			細胞機能の生物学	教育								
			脳の間脳科学	人科								
			現代の生命科学	人科								
			生体環境の生理学	人科								
			解剖学	人科								
			Human Biology51	国教								

- は実験・実習を伴う科目。
- 分野コードは Web シラバスの検索画面で選択できます。
- 領域、分野コードはあくまでも目安となります。授業内容の詳細は、必ずシラバスをよく読んで、確認してください。